

身の丈で 出来ることから少しずつ

日頃より、えんの森の運営に対し、ひとかたならぬご厚情をいただき心よりお礼を申し上げます。おかげさまでもちまして設立5年目を迎えており、これもひとえに会員各位のご尽力の賜でございます。重ねてお礼を申し上げます。

我々の活動としては、2013年度より公園の一角でソバを栽培し、地域の子もたちとソバの収穫体験、講師を招いての蕎麦打ち体験などを行ってきました。また、地域コミュニティ活動として旧西円保育所を町より借り受け、釧路市の野本さんのご協力によりカフェを開店していただきました。今後も多くの方に来店・利用していただけるよう取り組んで参りたいと思います。

環境調査では、三郎川、丸佐川でのイトウなどの魚類のほか、外来生物であるウチダザリガニの調査にも取り組んでいきたいと思っております。



ソバ刈り作業の理事長

今後手探りではありますが、一歩ずつ進んでいくしかありません。「住み続けたいふるさとをつくる」を目指して職員一同精一杯務めさせていただきます。

引き続きえんの森にお力をお貸しいただきますようお願い申し上げます。

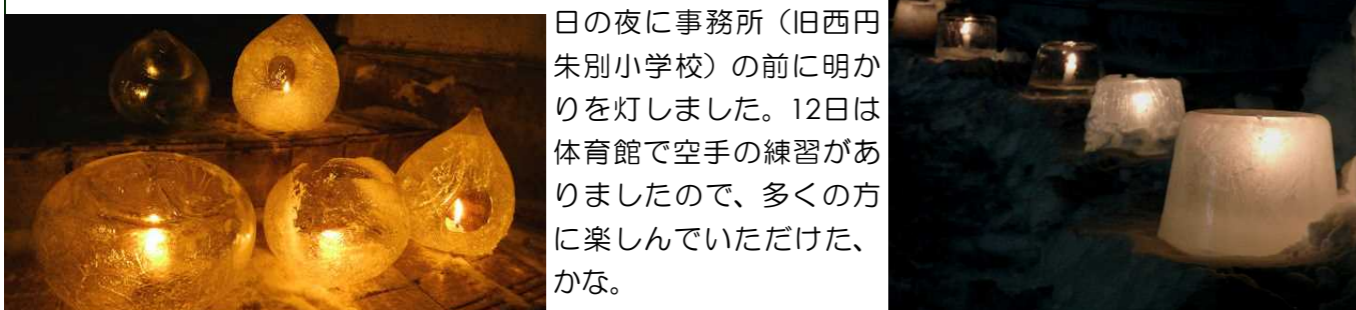
理事長 小椋 守

はまなかアイスクャンدلナイト2016



浜中町では、浜中グ

リーンツーリズム研究会が主催して「はまなかアイスクャンدلナイト」と題して、各家庭でアイスクャンدلを作って同じ時刻に灯すイベントを呼びかけています。今年は2月12日。3回目の開催になります。えんの森も昨年からは後援団体となっていますので、何かやろうということで40個ほどのアイスクャンدل・スノーキャンدلをつくって、11日12



日の夜に事務所（旧西円朱別小学校）の前に明かりを灯しました。12日は体育館で空手の練習がありましたので、多くの方に楽しんでいただけた、かな。

風連川流域住民へのアンケート調査

道の林業試験場では、風蓮湖に流入する河川の流域保全対策が、その地域の酪農や漁業に与える影響についての研究を行っています。試験場の長坂晶子さんが上流域・下流域という違いや農業・漁業ということが住民の意識にどんな影響を与えているか把握するため、一昨年、身の回りの自然環境や身近な生きものを通じての聞き取り調査を行っています。しかし聞き取りでは調査数が限られるため、昨年、浜中・別海の酪農家300戸、風蓮湖関係の漁家150戸を対象にアンケート調査を行い、えんの森でこの業務を受託し、調査票の作成、配布・回収作業を行いました。

一昨年の聞き取り調査の結果については、昨年の5月に別海町で開かれた「酪農交流会」と11月に霧多布で開かれた「海と湿原のつながり調査報告会」でも長坂さんから報告があり、大変興味深いものでしたので、今回のアンケート調査の結果も楽しみです。結果がまとまったら浜中で報告会を開きたいとのことですので、次号通信において詳しい報告が出来ると思っております。

えんなソバで蕎麦を打つ

西円いこいの森公園の一角、元教職員用の野菜畑だったところにソバを栽培しはじめて3年が経ちました。一昨年からは地元自治会と合同で蕎麦打ち教室も開催しています。子どもたちには昔の道具で手作業を体験してもらったりもしていますが、蕎麦打ちはまだ大人だけで、腕が上がったら、子どもたちも交えて収穫祭として実施出来ればと考えています。収穫したソバ

も一部は粉に挽いて美味しくいただきました。見た目が悪くても自分で打った蕎麦の味はまたひとしおです。



フォトエッセー

まきばを渡る風 Vol.5

「わたしの水中花」 菅井喜久雄



水中花というと子どもの頃縁日などで売られていたコップの水の中に開く花。と、青年会の演芸会で黒いスリッパを着せられて歌った「愛の水中花」。以上私の水中花。

バイカモという水草は冷水を好むため、中部以南では湧き水や清流など限られたところに生育するようですが、こちらでは割と普通に見られ、キンギョモと呼ばれたりもして、金魚を飼うときなどに川から採ってきてマツモのかわりに使われたりするようです。西円を流れる丸佐川は三面がブロックで護岸されていますが、夏の間そこそこに梅に似た白い花が見られます。虫媒花なので水面上に花を咲かせますが、流れがあるところでは水中に没している開いた花も見られます。



さて、時にはバイカモを愛でながら川の中を歩いてみませんか。ときおりカワセミがコバルトブルーの光の矢となって頭の上を通り過ぎて行ったりもして。ドキドキワクワクがいっぱいですよ。

当会理事の中川大介氏が共同代表を務める「人と水研究会」が、2013年10月に三郎川魚道と美幌町駒生川魚道を訪れた際のメンバーの考察を会報にまとめています。詳しくはこちらを。
人と水研究会 <http://hitomizu.jimdo.com/>



あなたの力を貸してください。

NPO法人えんの森の活動は、会員の皆様の力で支えられています。2015年12月1日現在、正会員(社員)26人、サポーター会員92人、団体会員15団体。ご支援に心から感謝します。

- サポーター会員 年会費2,000円 ■団体会員 年会費1口10,000円(1口以上)
- 会費・寄付の口座

- 大地みらい信用金庫 浜中支店 普通1035531 特定非営利活動法人えんの森 理事長 小椋 守
- JAバンク 浜中町農業協同組合本所 普通0014728 NPO法人えんの森 理事長 小椋 守
- 郵便振替口座 02760-2-80105 NPO法人えんの森

★団体会員：飛鳥苑、蝦夷三官寺學研究所、(株)興和工業、コマツ道東(株)釧路支店、三光産業株式会社、日本配合飼料(株)、日本全業工業、根室湾中部漁業協同組合、(有)浜中町就職者研修牧場本場、浜中町農業協同組合、北海道オリオン(株)浜中営業所、(株)丸夕村田商店、NPO法人EnVision環境保全事務所、(有)矢原電設、(株)鈴久名牧場(敬称略)

NPO法人えんの森ニュースレター「えんの森通信」第6号(2016年3月発行)
En no mori News Letter No.6 March 2016

■発行■ 特定非営利活動法人 えんの森

■編集■ 菅井喜久雄

■特定非営利活動法人えんの森事務局 北海道厚岸郡浜中町西円朱別西18線181番地

電話:0153-65-3020 ファクス:0153-65-3021

電子メール: enmori@least-shrew.jp

ホームページ: <http://least-shrew.jp/enmori/>



えんの森通信

En no mori News Letter No.6 March 2016



旧西円保育所を活性化の核に



保育所が閉所になったあと、何とか活用していきたいと地域自治会が借り受け、利用について模索してきましたがこれといったものがないまま2年が過ぎていました。えんの森とは魚類調査などで馴染みのある野本さんがカフェを開く場所を探しているということで、協議・検討した結果、えんの森が施設を借り受け、利用者を募る形で運営していくことになりました。厨房やトイレを改修し、昨年5月に「カフェちゃちゃまる」がオープンしました。



昨年は隔週日曜日営業のちゃちゃまるのみの利用でしたが、現在28年度の利用申し込みを受け付けています。通年・季節利用の場合は電気代などの費用を利用者で案分して負担していただきます。イベントなど一日だけの利用も出来ます(利用料を設定)。利用を希望される方はお問い合わせください。また、お知り合いなどに場所を探している方などがいらっしやいましたらご紹介いただければ幸いです。

第4回 総会開催

開催が大幅に遅れましたが9月26日、第4回通常総会が西円朱別農民研修センターで開催されました。総会は、議決権者出席と委任状の提出を得て成立。小椋理事長の開会のあいさつで始まり、議長、議事録署名人を選出の後、議案に入り、第1号平成26年度事業報告、第2号平成26年度収支決算、第3号会計監査、第4号平成27年度事業計画案、第5号平成27年度収支予算案、第6号その他事項として旧西円保育所の活用についてなどが報告されました。すべての議案は可決、承認されました。

<役職員>

- 理事長 小椋 守
- 副理事長 鈴久名敏男
- 理事 垣内勇人
- 理事 甲斐沼淳一
- 理事 中川大介
- 理事 菅井喜久雄
- 監事 目黒耕次

平成26年度決算および27年度予算、事業計画

26年度決算 (単位・円)	27年度予算 (単位・円)	27年度の主な事業計画
収入計 5,776,788	収入計 7,025,542	●丸佐川・三郎川の自然環境情報の整備
支出計 2,674,399	支出計 1,399,000	●旧西円保育所の活用
収支差額 3,102,389	収支差額 5,626,542	●自然観察会の実施 など